

令和5年8月29日

度重なり来訪する右翼団体が主張する案件について

沢田良事務所

3月、6月に引き続き、8月に3度目の右翼団体の来訪があり、近隣住民の皆さまには本当にご不快な思いをさせてしまい、心からお詫び申し上げます。

現状の事務所対応や、彼らが主張する案件について、ほぼ事実無根ではございますが、正式に回答させていただきます。

【事案】

3月26日（日）、6月25日（日）、8月27日（日）に、さいたま市南区にある、自宅と事務所付近を総勢5台の街宣車で来訪し、住宅街をグルグルと巡回。大きな音と声でわめき散らかすなどの迷惑行為を受けました。

【対応】

浦和警察を中心に常時監視体制をしいて頂いておりましたが、法令上止めさせることが出来ないということで非常にもどかしい思いをいたしました。直接対応を試みましたが、煽りと受け取られる行為は、更なるヒートアップに繋がるので止めて欲しいと警察関係者より指導を受けてしまいました。

現在、担当弁護士より様々な照会をかけており、団体・人物特定を行っております。

また、当該団体より質問状が届き、回答を求めていたので、内容証明便で回答を送りましたが、該当住所に宛先がないと戻って来ております。

尚、来訪し街宣活動を行った、東京都台東区西浅草に本拠を置く右翼団体『救国政治連盟グループ』という団体の住所は、指定暴力団と同一でした。

【主張について】

彼らが主張していた事項は、主に以下の通りです。

1. 旧統一教会とつながりがある

昨年、政治と旧統一教会のつながりが問題になった際、どの政党よりも早く全体調査を行い、公開したのは日本維新の会です。

2021年の衆議院議員選挙に向けて、地域団体への挨拶回りをしていた際に、旧統一教会の支部である、さいたま南家庭教会へ2度程伺いました。チラシの配布やポスター

の掲示などをお願いしましたが、自民党を支持されているということで丁重に断られました。

ご存知の通り、旧統一教会の問題が表面化されたのは、2022年に発声した安倍首相銃撃事件以降であり、沢田のスタンスとしましては、地域を大切に思う一政治家として、地域にお住まいの皆さまが、それぞれどのような信条・どのような宗教を信心なさっていたとしても、ご挨拶させて頂き、話も伺うという姿勢で活動をしておりました。が、今回の旧統一教会問題以降は、慎重に活動を行うことも必要だと認識しております。

2. 後援会関係者が経営するクラブでセクハラをしていた

登記上は存在していましたが、実質沢田良の後援会というのは活動すらしていませんでしたので、まず、後援会の関係者という方がそもそもおりません。知人の知人が大宮にてクラブを経営しており、数回知人と共に利用したことはあるので、仮にその件だと仮定したとしても、セクハラなどの事実はもちろんございません。写真・動画などの証拠も一度も提示されたこともございません。

3. 反社会的組織の人間と付き合いがある

当然のことながら、反社会組織の人間との付き合いの事実はございません。同様に、相手の情報、並びに写真・動画などの証拠を一度も提示されたこともございません。

4. 未成年の女性と酒を伴う飲食をした

本件も全く身に覚えのない案件です。同様に、相手の情報、並びに写真・動画などの証拠を一度も提示されたこともございません。

5. ポスターを無断で貼っていた

現在細かく調査をしております。衆議院議員当選以前に事務所に出入りしていた一部ボランティアや業者と連絡が取れず、現在までに未確認の箇所もありますが、ここまで数年間、ポスターの無断貼りでトラブルになったことはございません。

但し、今月上旬ですが戸田市内で住人の許可を取得した上で新規にポスターを貼らせて頂いた個人宅において、翌日他党からクレームが入り他党市議会議員が無断で剥がすというトラブルはありました。度重なり事実確認を該当市議会議員事務所へ連絡を入れていますが、未だに連絡が取れておりません。思い当たるトラブルは本件のみであり、また、3月、6月に右翼団体が来訪した際には全く触れてなかったことから、本件なのかなと推測しているところです。

6. 右翼団体街宣車前に立ちはだかつて進行を妨害し、暴言を吐いた

この件は事実であり、反省をしております。浦和警察からも注意を受けました。事実無根の話を、条例で定められている範囲とはいえ、大騒音で近隣住民に迷惑をかけていた行動に対して、感情的に行動してしまいました。

ただ、地域には小さなお子様も多く、病気療養でお休みの方もいらっしゃいます。心臓の弱い高齢者もいらっしゃいます。沢田の家族、特に小さな子どもも、大きな声で自分の父親の名前を叫ばれ、恐怖で泣いて震えておりました。警察には止められましたが、どうしても許すことが出来ず、そのような行動を取ってしまいました。

当該団体の主な主張に対する回答は以上になります。

現状、沢田良事務所としましては、

1. 警察との連携
2. 弁護士を通じた対応
3. 住宅地における騒音基準値（条例）の見直し

について動いておりますが、どれも即効性もなく時間が掛かるものも多いです。

右翼団体の街宣活動は、現状、認められた政治活動であり、事務所として活動そのものを止めることがなかなか難しいです。近隣の皆さまにおかれましては、万が一このようなことが発生した際には、110番への通報をお願いします。警察は活動自体を抑えることは出来ないが、この通報がたくさんあるという事実案件をもって、警察対応が出来るという返答も頂いております。

もちろん、今後発生しないよう、あらゆる策を講じてまいります。

衆議院解散選挙が近づいているといわれ、このような他党からの嫌がらせと思われる行為は、全国の各地域で行われているようですが、今回、私の地元付近でこのようなことが続いてしまい、本当に申し訳なく思っております。

今後とも地域の為の政治を真摯に務めて参りたいと存じます。

どうぞ宜しくお願い致します。